# 長年　おつかれさまでした

本年12月の一斉改選に伴い、長年、此花区の民生委員、児童委員活動をリードして来られた5名の方々が11月末をもって定年退任されます。

右も左もわからず民生委員となり、貴重な体験と多くの人達との出会いを頂き感謝。有難うございました。

伝法　中村　正代

24年間の中で「ちゅーりっぷの風」創刊号から51号まで関われたことに感謝です。楽しかったです。

高見　見澤　好美

20年間民生委員として、地域の皆様と共に活動し多くの事を学ぶことが出来ました。これからも「目の前の人を大切に」と決意しておきます。

高見　今田　幸子

健康で長く続けられたことに感謝。地域の方々に支えられて無事に退任を迎えました。ありがとうございました。

四貫島　北野たつ子

山口奈美江さんの後を受け12年、色々学ばさせて頂きありがとう。良い社会勉強ができました。感謝です。

四貫島　中井　和子

## 映画「さとにきたらええやん」

### 研修委員会より

酉島　米原　ミヤ子

例年ですと、 一年に一度は全委員対象に何らかの形で研修会を実施されてた様に記憶しているのですが、令和2年年明けとともにコロナ感染拡大に日常が一変し、非日常を強いられる日々となりました。コロナ感染拡大を繰り返す中で、私たち研修委員会も計画は立てるものの二転三転し、流動的なものになってしまいました。

今期も残りわずかとなり委員会としましては頭の痛い事案でありましたが、事務局の協力を頂き、9月5日映画上映会「さとにきたらええやん」を実施することができました。心より感謝申し上げます。

また、9月21日主任児童委員の研修会では、認定NPO法人 地域包括支援センター「こどもの里」理事長　荘保共子（しょうほともこ）氏による講演会「困難を抱えた子どもたちに寄り添う」が行われました。映画の内容をより一層深めていただき素晴らしい学びの場となりました。

コロナ禍の収束にはまだまだ時間がかかりそうで先を見通しづらい状況ではありますが、細心の注意を払いながら前に歩を進めていきたいと思っています。

### 主任児童委員連絡会

～　研修を受けて・・・　～

高見　竹花　由紀

大阪市西成区釜ヶ崎地区、日雇い労働者が多くいる街として知られてきたこの街で50年に渡って子どもたちと向き合ってきた荘保共子さんが運営する“こどもの里”ホームページには『誰でも利用できます。子どもたちの遊びの場です。お母さん お父さんの休息の場です。学習の場です。生活相談 何でも受け付けます。教育相談 何でもききます。いつでも宿泊できます。』とあります。0歳からおおむね20歳までの子どもを、障がいの有無や国籍の区別なく無料で受け入れ、大人になる子どもたちの自立支援までお手伝いしています。映画はその“さと”で暮らす子どもたちがいきいきと描かれた、笑いあり涙ありのドキュメンタリーです。様々な困難を抱え苦悩する子どもたちに真摯に向き合う職員の姿がとても印象的な作品で、こんな施設が此花区にもあったらいいなと素直に感じさせてくれます。講演会では運営する中で出会った子どもたちの様々な事例とともに、西成区独自のネットワークや取組みが紹介され、子どもたちの権利についても学びました。

コロナにより地域のコミュニケーションがますます希薄になる昨今、この2つの研修会を通して今後の此花区の課題を感じました。